

第5章 施設編

附属図書館

附属図書館は、学習や研究の支援を行う総合図書館として本学の図書を集中管理し、資料・情報センターとしての機能を担っています。

参考書や専門書等の図書・雑誌・視聴覚資料や電子ジャーナル・データベースが利用できるほか、各種の情報検索サービスが受けられます。



1 開館時間・休館日・問い合わせ先

(1) 開館時間

通常 午前8時45分～午後8時

ただし、休業期間中は午前8時45分～午後5時です。

(2) その他

土・日曜日・祝日は休館です。

蔵書点検等により休館や開館時間を変更することがあります。

休館や開館時間の変更についてはウェブサイト等でもお知らせしています。

(3) 問い合わせ先 082-830-1508

2 利用できる資料

(1) 所蔵資料(2019年3月末)

図書 約34万冊

受入中の雑誌 約400種類

新聞 16種類(日本語:9種類、外国語:7種類)

視聴覚資料 約1,700タイトル

3階閲覧室:参考図書、一般図書、視聴覚資料
最近の雑誌、新聞(当月分)

2階・1階開架書庫:研究用図書、文庫・新書、
雑誌バックナンバー等

(2) オンライン資料

図書館ウェブサイトからは、国内及び海外新聞データベース、電子ジャーナル、文献データベース等が利用できます。

3 館内利用

館内では、従来どおり静かに集中して学べるサイレントエリアのほか、3階にグループ学習に対応したラーニングcommonsや、1階中庭に面したオープンエリアなど、さまざまな学びの場を利用できます。

※ 入退館時にゲートでIC付の学生証をかざしてください。



(1) 図書・雑誌

3階閲覧室をはじめ、2階、1階の開架書庫へも自由に降りて利用できます。

図書:日本十進分類法(NDC)に従ってつけられた請求記号の順に並んでいます。

雑誌:和雑誌はタイトルの50音順、洋雑誌はアルファベット順に並んでいます。

(2) 視聴覚資料

3階のAVコーナーでは、図書館で所蔵するDVD、ビデオ、LD等の視聴覚資料が利用できます。閲覧するときは、カウンターへソフトのケースを持って来てください。

(3) パソコン利用

館内にはデスクトップ型パソコン10台と、館外(学内)での利用もできる貸出用ノートパソコン(シンクライアント端末)40台があります。貸出用パソコンを利用するときは、学生証を持ってカウンターに申し込んでください。

※ パソコンの利用には、個人認証が必要です。

4 館外貸出(貸出冊数及び貸出期間)

(1) 利用の資格

- ① 本学の学生
- ② 本学の教職員及び名誉教授
- ③ その他館長が認めた者

(2) 貸出手続

資料の館外貸出は、図書館3階のカウンターで行っています。借りたい資料と学生証又は身分証明書を持ってカウンターへ来てください。ただし、参考図書、貴重書、新聞、雑誌の最新号、視聴覚資料の一部等、貸出できないものがありますのでご注意ください。

転貸:借りた資料を他者に貸すことは、できません。転貸し、資料が破損、亡失したときは、転貸者の責任となります。

弁償:資料を汚損、破損又は亡失したときは、弁償していただきます。大切に利用しましょう。

(3) 貸出冊数及び貸出期間

区分	貸出冊数			貸出期間	
	図書	雑誌	合計	図書	雑誌
学部学生	10冊以内	5冊以内	10冊以内	2週間	5日
大学院生	10冊以内	5冊以内	10冊以内	30日	5日
教職員	50冊以内	10冊以内	50冊以内	2か月	10日
一般※	5冊以内	貸出しない	5冊以内	2週間	貸出しない

※ 広島市内に居住、または通勤・通学している15歳以上の方にも、図書の館外貸出を行っています。

【貸出期間延長制度】

貸出期間中であれば、1回に限り、貸出期間を延長することができます。延長期間は貸出期間と同じです。カウンター、電話、又はOPACシステムで申し込んでください。ただし延滞中の資料、予約のある資料、雑誌、授業参考書等は延長することができません。

(4) 返却手続

貸出を受けた資料は、期限までにカウンターへ返却してください。図書館の閉館中は図書館3階入口横のブックポストに返却してください。

※ 返却期限の過ぎた資料がある場合は、新たに借りることができません。

(5) 予約・リクエスト

利用したい資料が貸出中の場合は、予約できます。OPAC または、図書館カウンターで申し込んでください。また、所蔵していない資料を図書館が購入するリクエスト制度もあります。購入を希望するものがある場合は、カウンターの職員に相談してください。

【OPAC システムログイン機能】

図書館 OPAC システムにログインすると、貸出・予約状況を照会することができます。大学情報サービスシステムの ID (学籍番号)、パスワードでログインしてください。

5 資料の検索

図書館及び教員研究室で所蔵する資料の情報（所蔵の有無、利用状況、保管場所等）は、附属図書館の OPAC (オンライン蔵書目録) で検索することができます。

OPAC は、館内の専用パソコンや附属図書館のウェブサイトから利用できます。

<https://opac.lib.hiroshima-cu.ac.jp/>



6 レファレンス (参考業務)

図書館の利用に関する案内、必要な資料、雑誌論文等の文献の所蔵調査、情報検索の方法等、わからないことがあれば、カウンターで相談を受けています。特別な手続きはいりません。お気軽にご相談ください。

7 資料の複写

学習・教育・研究のために必要な場合、附属図書館資料に限り、一部複写することができます (有料)。複写の前に、カウンターで、申込書に必要事項を記入して申し込んでください。

※ 著作権法により複写できない場合があります。

複写料金表 (1枚につき)	白黒	10円
	カラー	B4まで 50円 A3 80円

8 相互利用サービス (ILL)

利用したい資料が学内にないときは、図書館が仲介して他大学の図書館や国立国会図書館から図書や複写を取り寄せることができます。また、他大学図書館等の施設利用を希望する場合は、紹介状も発行します。

利用を希望する場合は、図書館カウンターに申し込んでください。

※ 複写・借用にかかる料金は、個人負担となります。

9 市立図書館図書の利用

附属図書館と広島市立図書館は、週1回、メール便を運行して図書の相互貸借を行っています。市立図書館が所蔵する学習に必要な図書、小説、実用書等を借りたいときは、活用してください。利用は無料です。

(1) 貸出手続き

「市立図書館資料利用申込書」に記入してカウンターで申し込んでください。資料が届いたら連絡します。雑誌・まんが・事典類など取り寄せられないものもあります。詳しくは職員にお尋ねください。

(2) 貸出冊数及び貸出期間

学生、教職員いずれも5冊まで (通常の貸出冊数に含めます。)、2週間です。

(3) 返却手続き

返却期限までにカウンターに返却してください。

10 附属図書館ウェブサイト

図書館のウェブサイトからは、本学の OPAC、他大学、国立国会図書館や市立図書館の OPAC が利用できます。また、利用申込書の様式もダウンロードできます。ご利用ください。

《附属図書館ウェブサイト》

<https://www.lib.hiroshima-cu.ac.jp/>

又は、

市立大学ウェブサイトトップ画面

→ 附属機関・施設

→ 附属図書館 → オリジナルサイト



図書館利用上の注意事項

- ・館内では静粛に
- ・喫煙・飲食は禁止
- ・携帯電話の利用は禁止
- ・集会その他会合に類する行為はしないこと
- ・図書館の資料、設備機器は、大切に扱うこと
- ・その他、係員の指示に従うこと

3階ラーニングcommonsに限り、議論などの会話と、ペットボトル等の蓋付飲料の持込が可能です。

図書館を上手に利用して、実りの多い学生生活を送りましょう。

語学センター

語学センターは、国際的な視野の下に教育研究を推進するため、CALL※教室、自習室、グループ学習室などに最新の語学教育機器を整備し、外国語の実践的運用能力を高めることを目的とする全学的な語学教育施設です。

外国語の授業を行うだけでなく、センターの一部は、学生の自学習の場としても開放しています。インターネット・電子メールや外国語学習教材・映画DVDやブルーレイなどの利用ができます。



1 設備内容等

施設名	主な機能	学生席数
CALL 講義室 403A	CALL、教室録画、二教室連動、センター内他教室への授業映像配信	67席
CALL 講義室 403B	CALL、通訳ブース、二教室連動	67席
CALL 講義室 404A	ワイヤレスCALL、二教室連動	48席
CALL 講義室 404B	ワイヤレスCALL、二教室連動	32席
CALL 講義室 408	ワイヤレスCALL、ノート PC (36台) 教室録画、グループ学習	40席
自習室	CALL、自習用ブース (パソコン、ブルーレイ視聴)、教材検索用パソコン	80席
共同研究室	プロジェクタ、ノート PC (16台)、ビデオデッキ・ブルーレイデッキ+モニター	16席
グループ学習室 1	プロジェクタ、ノート PC (12台)、ビデオデッキ・ブルーレイデッキ+モニター	12席
グループ学習室 2 (録音室)	プロジェクタ、ノート PC (12台)、録音・映像音声編集	12席
ランゲージラウンジ	大型ディスプレイ、iPad (6台)	イス 12脚 ソファ

●センター内全教室で学生がパソコン、インターネットの使用ができます。プリンタは共同研究室・グループ学習室以外の教室で利用可能です。(右記、利用上の注意事項を参照。)

2 開館時間・休館日・問い合わせ先

(1) 利用時間

通常期：午前9時～午後7時

休業期：午前9時～午後5時

(ただし、機器調整等の時間中は除く。)

(2) 利用できない日

- ① 土曜日・日曜日
- ② 祝日 (ただし、全学授業実施日を除く。)
- ③ 全学休業日
- ④ 年末年始 (12月28日～1月3日)
- ⑤ 開学記念日の振替日
- ⑥ 平和記念日 8月6日

(3) 問い合わせ先

☎ 082-830-1509

E-mail : gcoffice@m.hiroshima-cu.ac.jp

3 利用方法

学生証を持参の上、語学センター自習室カウンターで必要な手続きをしてください。

《語学センター学生用ホームページ》 *学内限定

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/lang/private/index.html>

【教材について】

- ① 語学センターには、各言語に対応する約 4,750 点の DVD、ブルーレイ、CD等の語学学習用視聴覚教材があります。(自習室外への持ち出しはできません。)
- ② 自習室内にある外国語学習雑誌と付属CDの貸し出しをしています。(最新号を除き、持ち帰り可能。貸出期間は1か月。)

【自習室について】

- ① 自習室が満席の場合やグループ学習を希望する場合、空き教室があれば開放します。自習室カウンターに申し出てください。(無断利用禁止。)
- ② 自習室の機器や教材に関する質問があれば、自習室カウンターでスタッフに尋ねてください。

★利用上の注意事項

- ・各教室、自習室、共同研究室・グループ学習室での飲食・喫煙は禁止します。
- ・自習室や自習用に開放中の教室での私語も禁止です。
- ・プリント用紙は、1人あたり1年間モノクロ 300 枚、カラー20 枚まで使用できます。残数が無くなったら用紙を持参してカウンターで追加申請してください。(カラープリント1枚は白黒プリント5枚分相当です。)

【その他】

- ① TOEIC 実施時に個人受験者を募集する場合は、廊下(事務室入口左の壁)に掲示をします。
- ② 短期語学留学の募集については、掲示、大学HPなどでお知らせします。詳細確認や申込みをしたい場合は、自習室カウンターに来てください。
- ③ ランゲージチューター(留学生と日本人学生で行なう外国語相互学習)希望者は、申込み後に承認が必要ですので、早めに自習室カウンターで手続きをしてください。

※ CALLはComputer Assisted Language Learningの略で、コンピュータを利用した外国語教育を指すものです。

情報処理センター

情報処理センターは、情報処理機器を備えた全学的な情報処理教育施設です。

情報処理実習室 1・2 (4・5F)には、Windows と Linux が使用できるパソコンが各階80台用意されています。一般情報処理



科目やプログラミングなどの授業を行うほか、学生の皆さんが自習できるように教室を開放しています。なお、教室のパソコン環境は仮想化されており、実習室以外からも同じ環境を利用することができます。

また、学生向けにさまざまなネットワークサービスを提供しています。例えば、学内無線 LAN (どこでも hunet) 提供エリア (主に学生会館、図書館、各学部棟 2・3F ロビー、情報処理センター実習室、講義室、中庭) では、パソコンやタブレット端末等をネットワークに接続し利用することができます。メールサービスは Office365 (マイクロソフトクラウドサービス) を導入していますので、どこにいても Web ブラウザでメールを利用することができます。

自宅や個人所有のパソコン向けの主なサービスには、パソコンに必要なウィルス対策ソフトや Microsoft Office などの有償ソフトを無料で使えるサービスや自宅等のネットワークから履修登録や成績確認、自習学習 (e-learning) のシステムが利用できる「おうち hunet (VPN 接続サービス)」があります。

気軽に情報処理センター実習室やネットワークサービスを利用し、有意義な学生生活を過ごしてください。

1 実習室の主な設備機器等

	各実習室の設備機器
情報処理センター実習室 1,2 (4F、5F)	パソコン80台 (仮想デスクトップ環境 Windows/Linux) プリンタ2台 プロジェクタ
貸出パソコン	ノートパソコン10台 (5F 実習室環境と同じ)

※ 情報処理センター実習室 1 (4F) のみ映像編集ソフトなどのソフトウェアを利用できます。(詳しい内容は 98 ページ「学内で自習できる場所」をご覧ください。)

※ プリンタ利用については、年間印刷枚数に制限を設けています。

※ 貸出パソコンは学内無線 LAN 提供エリアで利用できます。

2 利用時間

平日 午前9時～午後7時

(ただし、授業及び保守整備中を除く。)

休業期間中は、午前9時～午後5時

土曜日・日曜日・休日は休み

3 問い合わせ先

☎ 082-830-1511

4 利用上の注意

- ・情報処理実験室(以下「実験室」という)を利用する場合は、各自カードキー(学生証)で入口の鍵を開けて利用すること。また、入退室の際には必ずドアを閉めること。
 - ・実習室内で、喫煙、飲食をしないこと。
 - ・授業や保守作業、又は他の利用者に支障をきたす可能性のある行為はしないこと。
 - ・実習室利用中、計算機等設備に障害が発生した場合には放置せず、速やかに情報処理センターに届け出ること。
 - ・実習室の設備機器を粗雑に扱わないこと。
 - ・USBメモリの抜き忘れや差し間違いに注意すること。
 - ・パソコンは利用後に必ず机の中に収納すること。
 - ・実習室設備や学内ネットワークの利用に必要なパスワード情報などを漏らさないこと。
- 上記の事項が守れない場合、利用の取り消しまたは一時停止の措置を取るほか、障害を生じた機材の修復や弁償を求めることがあります。
- ・電子メールによる問合せは、大学発行のメールアドレスを利用すること。

≪情報処理センターオリジナルサイト≫

<http://www.ipc.hiroshima-cu.ac.jp/>

情報処理センター実習室やネットワークサービスの詳しい利用情報を掲載しています。

広島市立大学芸術資料館は、本学開学の1994年に開館しました。「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という建学理念をふ



まえ、収集・保存・展示・公開、調査・研究、教育・普及活動を行っています。

収蔵作品としては、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチ他、国内外の作品約1300点を保存しています。国内外のデザイナーズチェアは67点とまとまった数を収蔵しています。

また、研究成果としての作品群、「卒業制作優秀買い上げ作品」、被爆者の肖像画「光の肖像」シリーズを収蔵するなど、幅広い分野の収集を行ってきました。

展示室での、企画展や学部・大学院の研究発表展、公開講座の実施や、国内外の美術館や美術展への作品貸出により、大学での研究や広島市立大学芸術資料館のコレクションを一般に公開しています。

1 収蔵作品（2019年12月末現在 1325点）

分類	点数
東洋画	14
模写東洋画	31
日本画	30
油絵	18
鉛筆画	1
光の肖像	117
版画	263
デッサン、下図	31
彫刻	20
彫刻ガンダラ	5
金工	179
染織	10
漆工	26
木工	3
陶磁器	103
テキスタイル	16
現代美術	1
デザイナーズチェア	68
照明	14

分類	点数
家具	11
工業製品	62
ポスター	106
写真	2
古書	44
建築模型、図面	13
手紙	1
記録	1
学生作品（日本画）	36
学生作品（油絵）	23
学生作品（彫刻）	18
学生作品（デザイン）	21
学生作品（工芸）	18
修士作品（日本画）	8
修士作品（油絵）	4
修士作品（彫刻）	4
修士作品（デザイン）	2
修士作品（工芸）	1

※ その他、資料あり。

2 開館日

企画展の開催期間中のみ開館しています。会期は約1週間程度です。

通常平日は午前10時から午後5時まで、土日祝日は午前10時から午後4時までです。休館日は会期の日程によります。

3 問い合わせ先

☎ 082-830-1507（芸術学部分室に同じ）

☎ 082-830-1821（芸術資料館準備室）

《芸術資料館オリジナルサイト》

<http://museum.hiroshima-cu.ac.jp/>

国際交流推進センター

国際交流推進センターでは、学生の海外派遣留学及び留学生受入れに関わる企画・広報・実施・相談などのサービスの提供に加え、国際化の面から大学の教育や研究の活性化を広範にサポートする活動に取り組んでいます。また、グローバル人材育成に向けても、熱意ある学生を親身に応援する体制を充実させ、将来を切り拓いていこうとする学生を後押ししていきます。

1 業務内容

(1) 窓口機能

受入れ学生や派遣予定学生の相談・問い合わせ等にセンターの専門職員が応じています。

- 留学生の来日時対応
- 留学生の在留資格変更及び期間更新に係る手続対応
- 留学生への奨学金情報提供・とりまとめ
- 留学生の健康診断受診要請・周知
- 留学生へのイベント情報提供・とりまとめ
- 留学希望学生への指導・アドバイス
- 派遣学生の相談・問合せ
- 派遣学生の申請書類作成に関する指導
- 派遣学生への事前オリエンテーション



(2) 留学生の状況把握

受入れ学生及び派遣学生が提出した名簿登録票や月報等により、留学生の学習状況・生活状況の把握に努めています。

(3) 留学関連行事や留学生向け行事の開催

毎年、留学に関心のある学生を対象にした留学説明会を実施しています。また留学生・学生間の交流を促進させるため、留学生との意見交換会・遠足を毎年春や秋に実施しています。



(4) 講演会の開催

グローバル人材育成の観点から、年に2回程度、国内外の著名な方をお招きしてグローバル人材育成講演会を開催しています。



2 利用時間

平日 午前8時30分～午後6時

休業期間中は、午前8時30分～午後5時

土曜日・日曜日・休日は休み

3 問い合わせ先

☎ 082-830-1784

キャリアセンター

キャリアセンターは、学生の就職、進学に限らずこれからの進路（キャリア）について、さまざまな方策により学生一人ひとりをきめ細かく丁寧に支援することにより、自らのキャリアについて考え、自ら行動できるよう自立し、さらに人間力を育成することを目的としています。

- 1 就職・進学（キャリア）相談
- 2 就職ガイダンス、キャリアセミナーの実施
- 3 求人票・会社説明会情報閲覧
- 4 学内合同・個別企業説明会の実施
- 5 履歴書・エントリーシート添削（要予約）
- 6 模擬面接（要予約）
- 7 インターンシップの実施
- 8 大学説明会・情報交換会の開催
- 9 保護者対象教育・進路説明会の開催
- 10 臨時・非常勤講師の登録
- 11 OB・OG 紹介
- 12 就職活動報告書閲覧
- 13 就職関連図書の閲覧・貸出

【開館日・開館時間】

常時キャリアアドバイザーが駐在していますので、特に相談の予約は必要ありません。気軽にお越しください。

センターに来られない場合は、電話・メールでの相談も受けています。

場 所：講義棟3階

利用時間：月～金曜日（祝日・休日除く）

8時30分～18時00分

（休業期間中は8時30分～17時00分）

電 話：082-830-1663

E-mail：career@m.hiroshima-cu.ac.jp

※125 ページ「キャリアデザイン」と「キャリア形成支援」も参照してください。



心と身体の相談センター

充実した学生生活を送るためには、日頃からの健康管理が大切です。心と身体の相談センターは保健室と相談室で構成され、学生の心身の健康を保持増進するお手伝いをしています。

○ 保健室

保健室の主な業務は、次のとおりです。



(1) 定期健康診断

学校保健法に基づき、毎年4月(秋入学者は入学時)に全学生を対象に、定期健康診断を実施します。必ず受けてください。

なお、定期健康診断を受けていない学生については、健康診断書(実習・就職用等)の発行ができませんので、注意してください。

また、この健診の結果は約3週間後に各学生にお渡しします。(詳細は掲示でお知らせします。)

(2) 応急手当

学内において、ケガをしたり、体調が悪くなったりしたときは、来室してください。応急手当をします。(投薬治療等はいりません。)症状によっては専門医の案内や受診の手配をします。ただし、受診費用は自己負担です。

(3) 健康相談

身体的な問題の相談に応じます。

また、必要に応じて学校医による健康相談も行っています。(詳細は保健室にお尋ねください。)

(4) 健康チェック

いつでも、血圧測定、体脂肪測定、アルコール体質テスト、視力の測定、尿検査ができます。測定結果をもとに保健指導も行います。積極的に健康チェックをしてください。

(5) 救命 AED 講習

学生や教職員を対象として、AED を使用した一時救命処置の講習会を計画的に実施しています。

(6) 相談室申込み

相談室の申込みは保健室でもできます。相談に申込みをするか迷っているときには遠慮なく保健室にご相談ください。

場所：本部棟1階保健室
利用時間：月～金曜日 9：00～18：00
(休業期間中は9：00～17：00)
TEL：082-830-1510
E-mail：hokenshitsu@mhiroshima-cu.ac.jp

○ 相談室(カウンセリング・サービス)

相談室では、皆さんが充実した学生生活が送れるよう、カウンセリングを行っています。学業や将来のこと、友人や恋愛、また、心の悩みなどいろいろな



問題について、専門のカウンセラーが相談に応じています。

秘密は守られます。また、希望や必要に応じて他の専門機関も紹介します。

相談は1人でもグループでも構いません。また、性格テストや適性検査もあります。気軽に利用してください。

なお、精神科医の相談日が、原則として月1回あります。(原則第3火曜日 13：45～14：45)

《利用のしかた》

原則として予約制(時間の確保とプライバシーの保護のため)です。事前に申し込んでください。

申込み方法：

- ① E-mail で申し込む
soudanshitsu@mhiroshima-cu.ac.jp
- ② 相談室前のポストに申込用紙を投函する
(申込用紙はポストの前にあります)
- ③ 保健室で申し込む
直接来室または Tel. 082-830-1510

〔 場所：本部棟1階相談室
利用時間：月～金曜日 10：00～18：00 〕

○ 学生生活に関する配慮希望の相談対応

心身に障害があるなどの理由で、授業の履修や大学生活において合理的な配慮の提供を希望する人は、保健室でも相談室でもよいので、相談してください。

○ ピア・サポート活動

センターでは、学生生活上のちょっとした相談に学生が対応したり手助けを行ったりするボランティア活動(ピア・サポート活動)の指導・支援をしています。

活動の一つとして図書館1階に「りっすんポスト」(投書箱)を設置しています。気軽に利用してください。

《投書例》友人を増やしたい

大学付近のお店を知りたい など

社会連携センター

広島市立大学では、教育や研究だけでなく社会貢献にも積極的に取り組んでおり、その対象は、地域住民、企業、広島市をはじめとする行政機関など様々です。社会貢献活動の中心的役割を果たす「社会連携センター」は、大学と社会をつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の研究等の成果を、社会に還元するための取り組みを行っています。主な取り組みとしては、産学連携・地域連携の推進、知的財産の管理と活用、公開講座、学生の社会貢献活動の支援などがあります。

【業務内容】

1 産学連携・地域連携の推進

研究成果の産業界への移転等を促進するとともに、行政機関等の課題解決等を通じ、地域貢献活動を行うことにより、国際平和文化都市の「知」の拠点としての役割を果たしています。

企業・行政等からの問い合わせに対し、社会連携コーディネーターが相談に応じ、ふさわしい教員との面談の設定などを行っています。

(1) 共同研究・受託研究の受け入れ・支援

教員が企業や行政等と実施する共同研究、企業や行政等からの依頼により実施する受託研究について窓口となり、事務手続き等の支援を行います。



基町プロジェクト活動拠点施設「M98」
(広島市からの受託研究)

(2) 社会連携プロジェクトの実施

教員が行う行政や市民団体等と連携した協働事業、地域の産業の発展に貢献する協働事業、広島市からの依頼に基づく協働事業に対し助成金を交付します。

(3) 研究成果の情報発信

研究シーズ集の作成、産学連携研究発表会（産学官連携イベント）の開催等を通じて、学外に情報を発信しています。



産学連携研究発表会

2 知的財産の管理

教員の発明等を特許権等として権利化するため、出願や審査請求等の手続きを行っています。また、権利化後の管理を行っています。

3 公開講座の実施

教員の専門性を生かし、幅広い層を対象としたさまざまな公開講座を毎年実施しています。

4 学生の社会貢献活動の支援

○ 市大生チャレンジ事業

学生の豊かな人間性を育み、自主性や問題解決能力を養成することを目的として、学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動に対し、活動費の一部を補助しています。

実施する学生グループをポスター等で募集しますので、学生の皆さんは奮ってご応募ください。

過去の採択例

- ・中高生を対象としたプログラミング教室
- ・地域の新春ロードレースでのタイム計測の自動化
- ・とびしま海道の魅力発信パンフレット作成

5 問い合わせ先

☎ 082-830-1764

E-mail : office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

《社会連携センターオリジナルサイト》

<http://www.renkeihiroshima-cu.ac.jp/>

サテライトキャンパス（広島市中区大手町四丁目1番1号 大手町平和ビル9階）

2013年10月、本市の市内中心部における活動拠点機能強化と市民の生涯学習のさらなる推進等のため、旧広島平和研究所跡地にサテライトキャンパスを開設しました。

【所在地・電話番号】

広島市中区大手町四丁目1番1号 大手町平和ビル9階

☎ 258-2200



【問い合わせ先】

総務室総務グループ

☎ 830-1502

【開館時間・開館日】

原則 10:00～18:00（月曜日から金曜日）

祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）は休館

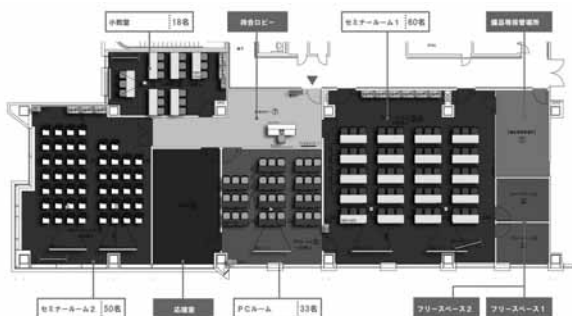
【主な活用方策等】

- (1) 市内中心部における本学の活動拠点の場
（本学主催セミナー、講演会、研究会等）
- (2) 広島市民の生涯学習の場
（市大英語eラーニング講座、講演会等の公開講座等）
- (3) 本学学生と地域住民等との交流の場
（学生によるパソコン相談室等）

【施設概要】

施設名称	面積 (㎡)	基本席数	主な活用方法
セミナールーム1	135.5	60	各種セミナー、講演会、研究会、分科会等
セミナールーム2	92.1	50	
PCルーム	53.4	33	市大英語eラーニング等、パソコン利用の公開講座等
小教室	34.1	18	ゼミ等の小規模会合用
待合ロビー	35.6	—	総合受付、本学情報・各種事業案内等の提供
応接室	40.0	—	来客等応接用

【フロアレイアウト（基本パターン）】



【各室写真】

